

山行NO NO. 1785
日時 2018.03.25(日) 無風快晴高温
山域 新潟・鍋倉山(1288m) 東尾根
コース 温井・最終集落発7:49—林道—広大な雪原8:52—西の沢(ブナ巨木帯=森姫・森太郎)
9:53—黒倉山コル10:30—鍋倉山10:44~11:04—東尾根—林道12:01—
最終集落12:16
標高差 上り 温井最終地約550m~鍋割山1288m=約738m
下り //
参加者 GT, KH

森姫・森太郎に会いに行く

春スキー合宿2日目は、以前から上りたかった鍋倉山。
温井(ぬくい)除雪最終地には、既に10数台の車があった。
今日も天気は、無風快晴高温。今回は当てたようだ。
道路わきに駐車し出発。先着の方は、既に出発した。
雪が融ければ田んぼであろう所をガシガシ上ると林道に出る。

しばらく林道を上ると、右手に田茂木池が見えた。灌漑用の池だろう。
この先で林道が終わると、広大な雪原が始まる。開放感がある気持ちの良い雪原だった。
先行者に目を凝らすと、左手の尾根の急壁に取り付いている者、その向こうの尾根に取り付く者、
西の沢を忠実に詰める者と様々だった。
我々は記録にあった西の沢を詰める。目的があった。西の沢には、鍋割山を象徴する森姫・森太郎
と呼ばれる、ブナの巨木があるからだ。



温井集落



西の沢

ここも昨日同様、北面である故、雪はカリカリで緊張の上りだった。
サイコーにイイ感じの西の沢を詰める。森太郎は分かったが、森姫は分からなかった。
情報では、森姫は既に枯れが始まっているようだ。



西の沢上部

黒倉山と鍋倉山のコルに出た。

鍋倉山はすぐ到着。先行者が5名。途中で先行していた年配の男女はいなかった。何処に行ってしまったのだろうか。

頂上は広く樹木は無かった。さて、滑降だが上って来た西の沢か東尾根かだ。西の沢は下部がやや平凡。東尾根を滑る。



鍋倉山東尾根



昨日同様、上部のブナは素晴らしかった。

天気は良く暖かく、春スキー三昧だった。

ルートは、下部はやや分かり難い。しかも、雪がグズグズになって来た。暖かいを通り過ぎて暑いになって来たからだろう。

それでも好天で視界がイイから、今朝のルートを思い出し下る。

朝あった左手の小屋に出て、程なく上りの林道に合流した。

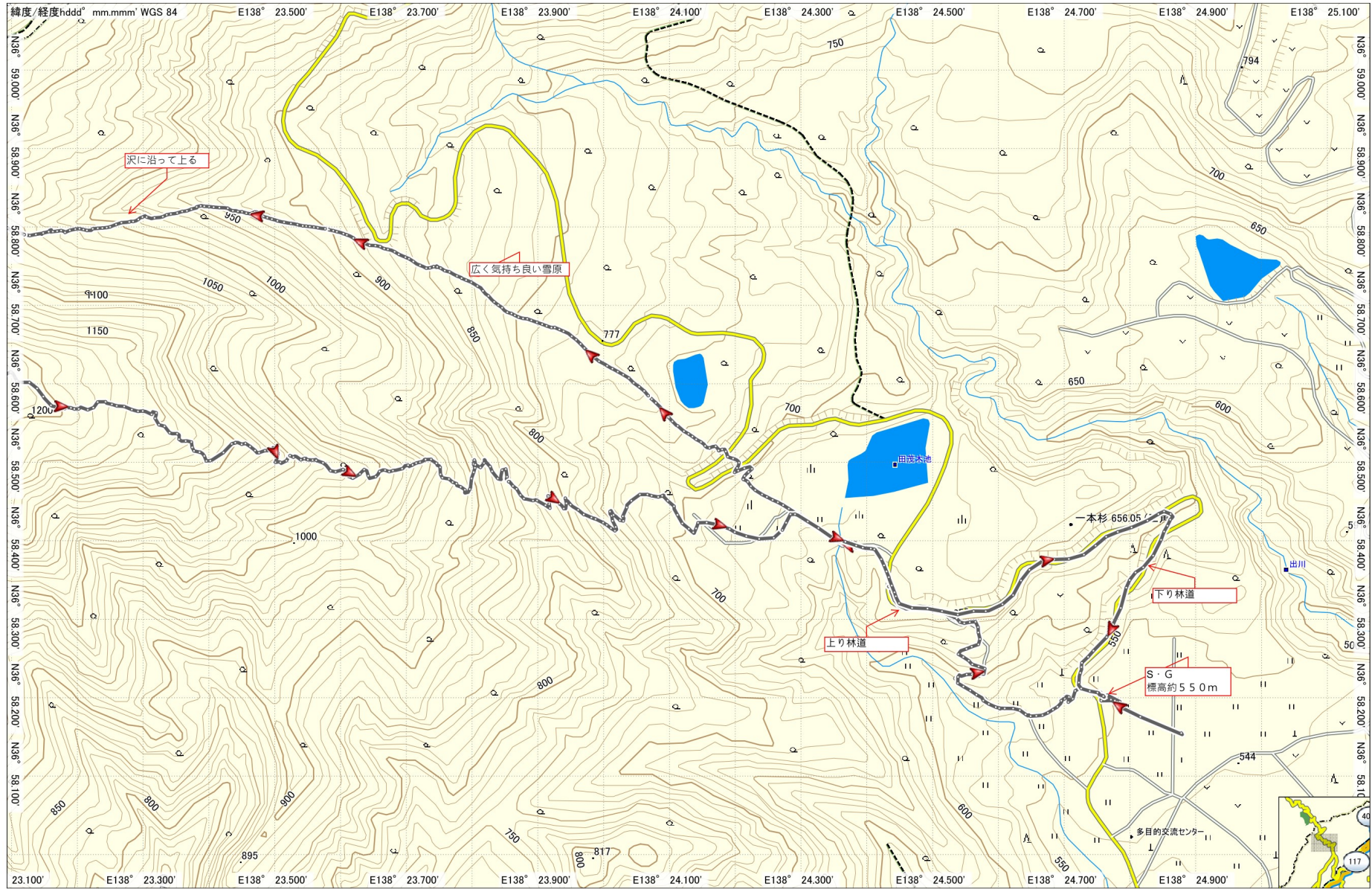
この辺りで積雪量は2mほどだろうか。





林道を快適に飛ばし、温井集到着。
今日も時間が早かったので、BS（ブルーシート）で昼食。焼きそば・ビアが美味かった。
この日も、帰路、福寿草が素晴らしかった。





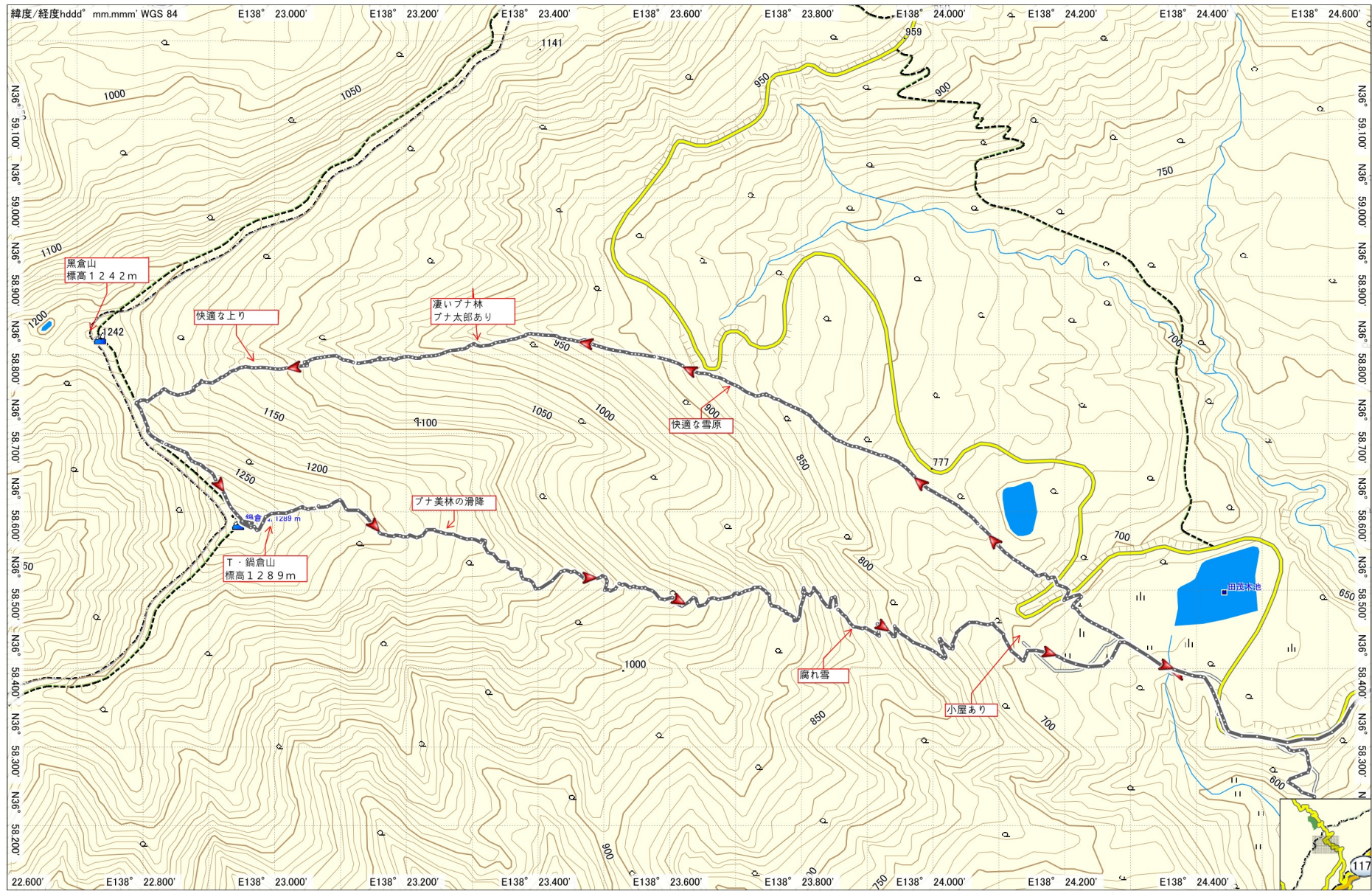
Japan Topo 10M Plus V3
 Copyright © 2014
 Garmin Corporation 1995-2014

2018/03/27 5:54:27

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN

2018/01/01



Japan Topo 10M Plus V3
 © Garmin/MapInfo Co., Ltd. 2018
 Garmin Corporation 1995-2014

2018/03/27 13:36:22

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN

2018/01/01